

街づくりだより

ひがしぐち

発行(第二十四号)

平成一五年四月二十八日

長野市 駅周辺整備局

電話 〇二六(二二四)五〇四九

主な記事

局長あいさつ 一、二面

駅南幹線の変更陳情 二面

平成十五年予算 三面

第二十二回仮換地指定 四面

ごあいさつ

駅周辺整備局長 江原文男

陽春の候、皆さまにはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

本年、四月一日から駅周辺整備局長を命ぜられました。駅周辺整備局には平成五年度から勤務しておりますが、引き続きご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

東口のまちづくりは今年の九月で事業開始から一〇年が経ちますが、事業の進捗率は仮換地指定率で二七%と遅れております。事業の促進を望む声と共に移転時期が曖昧で生活設計の見通しがたたないと言った苦情も

皆さまから数多く寄せられております。権利者の皆さまのご理解をいただきながら、概ね三年先の移転計画をお示しし、計画的な事業推進を図ってまいりたいと考えております。

ここ数年間は事業を半凍結状態にして反対連絡会の皆さまと話し合いをして参りましたが、その話し合いの中で、各地区で反対賛成なく話し合われた総意について尊重していきたいという市の姿勢を示して来ましたが、昨年からは各地区で、まちづくりの話し合いが関係者のご尽力により行われるようになってきました。大変貴重なことと捉えております。そこからの総意を尊重しながら事業促進のため一層の努力をして参りたいと考えております。

昨年度からは事業促進のため整備可能箇所から着手しているところですが、事業の早期完成のためには、皆さまのご理解を頂き、ぜひ集団移転を積極的に進めていく必要があります。その際、対象となる権利者の皆さまには移転の二、三年前から一同に交わり勉強会や、施行者からの説明をさせていただきます

が、一緒に移転するという共通点もあり、緑化協定(注①)などのまちづくりを共通の課題として話し合う良い機会になると思います。また、この事業の推進にあたっての重要な課題の一つに、高齢化の問題があります。土地区画整理事業では建物移転、即ち、生活移転が伴います。特に高齢者のみの世帯では移転が精神的

にも体力的にも、そして経済的にも重い負担になって来ると思われます。それらを軽減する新たな方策も検討させていただきたいと考えております。

長野市では今年三月、新たに「行政改革大綱」を策定しました。そこで、「住民参加のまちづくり」について「市民と市の役割分担を明らかにし、パートナーシップに基づきまちづくりの推進」と謳っています。パートナーシップのあり方やまちづくりの課題はそれぞれ地区により異なると思いますが、「愛着のもてるまちづくり」「将来に夢をもてるまちづくり」をキーワードに「住民参加のまちづくり」をぜひ実現して参りたいと考えております。

前局長の「まちづくりは人づ

くり」の基本理念を継承し、誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりを住民の皆さまと共に進めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

注① 緑化協定

緑豊かな街づくりのため、一定の区域内の土地所有者等により緑化に関する取り決めを行うこと。

市長陳情
駅南幹線変更で

本年、三月二十六日、栗田区長名で長野市長に対し、都市計画道路「駅南幹線」は地区内を一部曲線で通過する計画となつていますが、土地利用の高度化

を図るため直角交差に変更すると共に、交通需要を勘案し、沿線の住環境に配慮して当面は車道を2車線に変更し、コミュニティの場となる広幅員の歩道を備えた道路に変更するよう要望書が出されました。併せて、駅南幹線の早期整備についても要望されました。

市長からは、今回の要望を地区住民の総意と受け止め、円滑な交通の流れの確保が可能か、変更後も国庫補助対象になるか等について国・県等関係機関と協議し、変更協議が整えば、平成十五年度中の都市計画変更を目指したい。

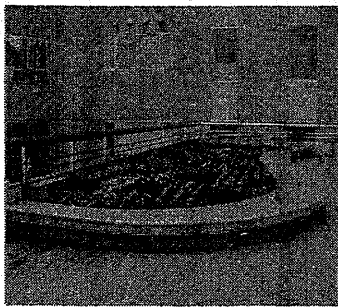
また、長野市の顔である東口地域について、地区住民の皆さんの思いも踏まえ、将来の都市像を見据えた整備を行いたいとの回答がありました。

東口デッキと

北中の緑道へ植栽

三月十九日(水)と四月十三日(日)に、住民参加による街づくりの一環として、JR長野駅東口ペDESTリアンデッキ内花壇と長野駅東口線西側の区画道路沿いの二ヶ所にパンジーを植えました。

三月十九日には、「国際ソロプチミスト長野」の会員と「須坂園芸高校」の生徒の協力により、長野駅東口デッキ内の花壇へ約二、〇〇〇株を植えたものです。



長野駅東口デッキ内の花壇のようす

また、四月十三日には、「北中をみんなで良くする会」の会員や地元の育成会及び有志の方々の協力により、北中地区東口線西側の区画道路の歩道脇に約一、二〇〇株を植えたものです。



北中地区歩道脇のようす

これからも、こうした取り組みを含め、住民参加の街づくりを進めてまいりたいと考えておりますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

平成十五年度予算の状況

長野駅周辺第二土地区画
整理事業予算は十九億八千
百万円で、対前年度比、九
億三千万円増（八八%増）
となっております。

今年度予算の概要につい
ては下記のとおりです。

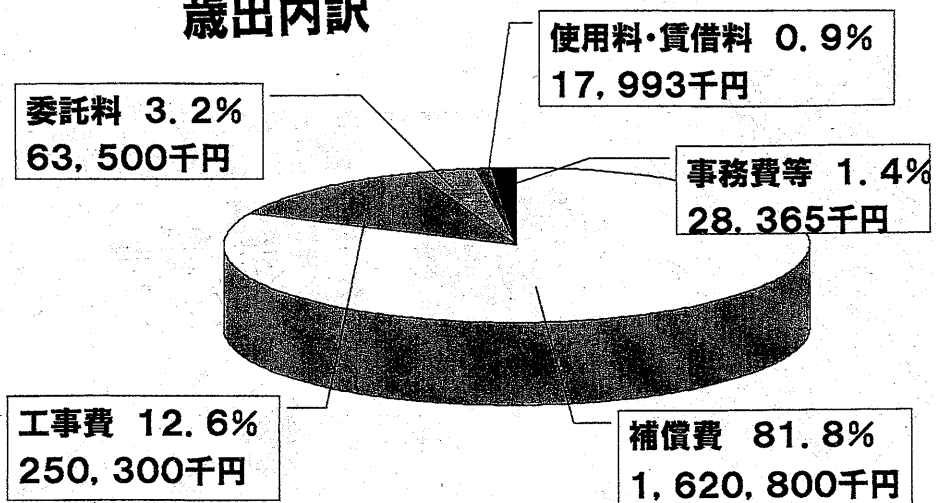


事業の早期完了を目指し、
住民の皆さまとの協働によ
る街づくりを進めてまいり
ます。

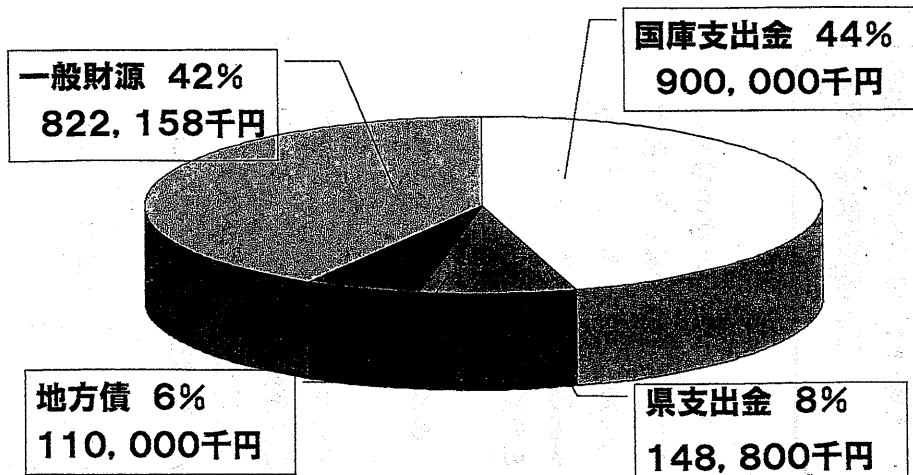
長野駅周辺第二土地区画整理事業

事業費 1,980,958千円

歳出内訳



歳入内訳



◆第二十二回仮換地指定について◆

平成十五年二月十七日(第二十二回)、一街区、三街区、十七街区ほか、計十五街区の仮換地指定について、長野都市計画長野駅周辺第二土地区画整理審議会に諮問しました。

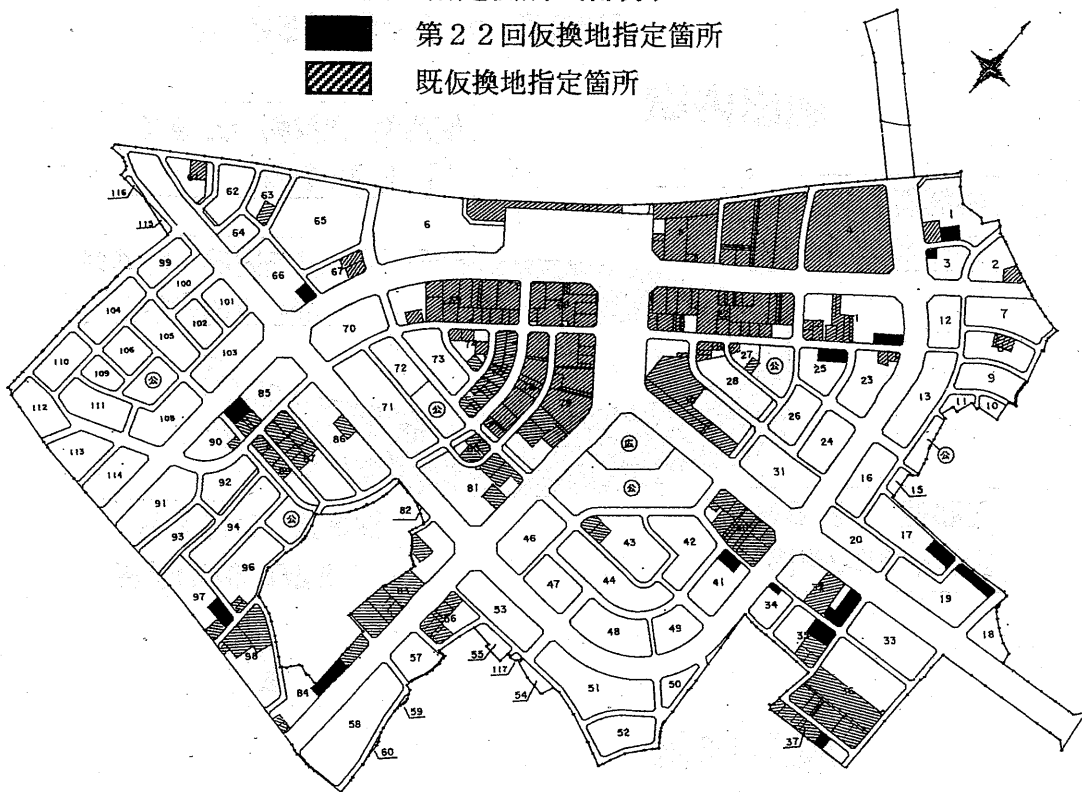
◎諮問内容

一街区の一部・三街区の一部・十七街区の一部・十九街区の一部・二十一街区の一部・二十五街区の一部・三十二街区の一部・三十四街区の一部・三十五街区の一部・三十七街区の一部・四十一街区の一部・六十六街区の一部・八十四街区の一部・八十五街区の一部・九十七街区の一部

地権者数 三十名
従前地積 約七、八七三㎡
換地面積 約六、六一四㎡
平均減歩率 約一六、〇%

仮換地指定箇所<部分>

■ 第22回仮換地指定箇所
▨ 既仮換地指定箇所



これらの諮問に対して審議会から「適当と認める(賛成六名・反対三名・保留三名)」との答申を同日付でいただきましたので、各権利者に対し個々に仮換地の指定を行っております。

今回までの仮換地指定により、仮換地の合計面積は、約九五、七六六㎡、仮換地指定率は二七、一%になります。



「ひがしぐち」は長野駅周辺第二土地区画整理事業の関係者に配布・郵送しています。誤記・配布漏れがありましたらお知らせください。

長野市駅周辺整備局
住所 長野市栗田九七二番地
電話 〇二六(二二四)五〇四九